

骨を診るのは医療。 人生を支えるのは看護。

入院から地域生活まで支える、看護の全体像を学ぶ 90 分。

看護師による看護師のための 脆弱性骨折ケアナーシングの基本

2026.9.13 [日] 10:30 – 12:00

90min.

TAKE HOME MESSAGE

この90分から、持ち帰ってほしい3つの言葉。

01 骨折だけを見ない。

患者を「一人の高齢者」として、その人生ごとく見る視点。

02 今日の看護を、明日の生活へ。

急性期の一手を、退院後の暮らしまで確かにつなぐ。

03 骨折の連鎖を、看護の力で止める。

転倒予防・二次性骨折予防・FLSを、看護から動かす。

WHAT YOU'LL LEARN

看護師の目線で持ち帰る、6つの学び。

01 骨折ではなく、その人の人生を見る
CGAを活かし、身体・栄養・認知・生活まで評価する視点。

02 周術期ケアと、意味ある早期離床
疼痛管理と離床で、廃用・肺炎・せん妄の連鎖を断つ。

03 転倒予防と、二次性骨折予防
「動かせない」ではなく「安全に動ける」を、チームで実装。

04 栄養・褥瘡・せん妄・心理を束ねる
合併症予防から心のケアまで、全人的にみるナーシング。

05 FLS・多職種連携・地域へつなぐ
病棟からリハ・薬剤・栄養・在宅へ。橋渡し役としての看護。

06 尊厳・人権・その人らしさを守る
そばにいる看護師にしか届かない、意思を聴くという役割。

一本の看護の道筋

救命 → 合併症予防 → 機能回復 → 再骨折予防 → 生活再建

座長 / CHAIRS

平岡 峰子（徳島文理大学 保健福祉学部 看護学科）

犬嶋 博美（富山市立富山市民病院）

EVENT

第28回

日本骨粗鬆症学会

Symposium 27・3-SY27